Canon
キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
（1月1日〜1月3日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンサービスセンター

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社	http://canon.jp/bebit/
キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報	http://canon.jp/dc/
キヤノン販売株式会社 サポート	http://canon.jp/support/
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

CDI-J205-010　XX05XXX　　PRINTED IN JAPAN

Canon キヤノンデジタルカメラ IXY DIGITAL WIRELESS カメラユーザーガイド 応用編

Canon

キヤノンデジタルカメラ IXY DIGITAL WIRELESS

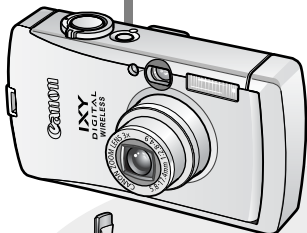
応用編

カメラユーザーガイド

本書ではカメラの機能や使いかたを詳細に説明しています。

DiG!C II
DPOF

主な特長

撮影
- シーンに合わせて撮影条件を自動設定（シーンモード）
- SI センサーでカメラの縦横位置を自動的に判別
- 画像の色味を変化させて撮影（マイカラーモード）

再生
- 音声つき動画再生
- スライドショーで自動再生

編集
- 静止画に音声メモを記録
- 動画を編集

無線で印刷
- 付属のワイヤレスプリントアダプターをキヤノン製PictBridge対応プリンターに取り付けて、簡単に印刷

無線でパソコン*に転送
- カメラ内の画像をパソコンへ一括転送
- 撮ったその場で、画像をパソコンへ転送

*無線でカメラと接続できるパソコンの OS は、Windows XP SP2 のみです。

このガイドの表記について

見出しの横や下にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。

モードスイッチ

連続して撮る

撮影モード

・**各撮影モードで設定できる機能は、巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」をご覧ください。**

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このカメラでは、SD *メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらを、メモリーカードと表記します。
*SD=Secure Digital （著作権保護システム）の略

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

取り扱い上のご注意

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。

万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

電波に関するご注意

- 本製品には、技術基準適合証明を取得した無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。
- 本製品に内蔵されている無線設備は、国内でのみ使用することができます。日本国外では使用できません。
- 次の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。「本製品を分解、改造すること」、「本製品上の証明ラベルをはがすこと」。
- 医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないでください。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉に関するご注意

本製品では、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用しています。

①産業 / 科学 / 医療機器

②工場の製造ラインなどで使用されている、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

③アマチュア無線局（免許を要する無線局）

本製品を使用した場合、上記の機器や無線局と電波干渉を起こす恐れがありますので、以下の事項を理解されたうえでご使用ください。

- 本製品を使用する前に、近くで上記①②③の機器や無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から上記①②③の機器や無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにチャンネル（使用周波数）を変更して、電波干渉を起こさないようにしてください。
- その他、本製品から上記①②③の機器や無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、「お客様相談センター」へお問い合わせください。

2.4 DS 4

この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS 変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 本製品は、他の電波を発する機器（電子レンジ、Bluetooth 機器、デジタルコードレス電話など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。
- 無線設備の認証番号：007NYDUL0020
  007GZDUL0021

安全上のご注意

- ご使用前に本書、および基本編の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、バッテリーチャージャー、ワイヤレスプリントアダプター、コンパクトパワーアダプター
- バッテリー：バッテリーパック

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠ 警告

本機器

●カメラで太陽や強い光源を直接見ないでください。

視力障害の原因となります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・リストストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・メモリーカード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで､ストロボ部分が破損した際は､内部には触れないでください。

●煙が出ている､焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず､バッテリーを外すか、バッテリーチャージャー、あるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災や感電の原因となります。

バッテリー

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外のバッテリーを使用しないでください。

バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラやワイヤレスプリントアダプター、電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●バッテリーを充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

●飛行機内・病院でご使用の際は、航空会社・病院の指示に従ってください。

本機器が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠注意

本機器

●リストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。

●バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターは、必ず指定された電源コンセントを使用し、定格を超えて使用しないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

●風通しの悪いところで使用しないでください。

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●使用しないときは、バッテリーを取り出し、保存してください。

カメラに、バッテリーを入れたままにしておくと、バッテリーが消耗します。

ストロボ

●発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。

●発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●連続発光後、発光部分に触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動､破壊を防ぐために

●カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

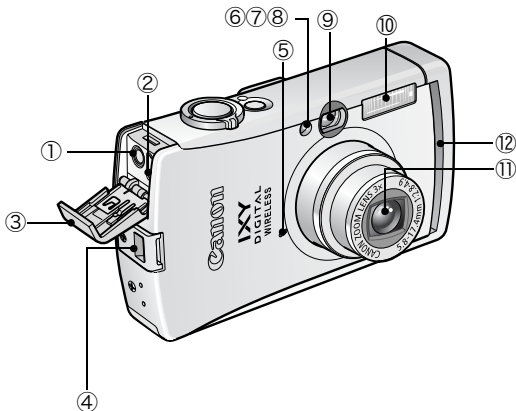
カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。

結露が発生したときは

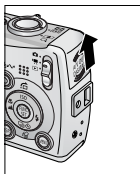
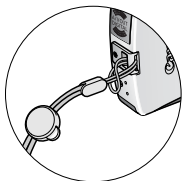
●カメラを使用しないでください。

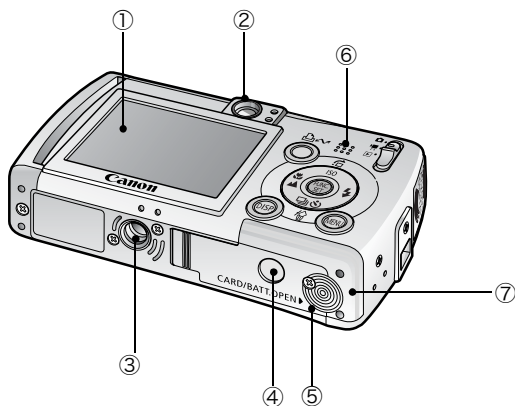
故障の原因になります。
カメラを使う場合は､メモリーカード、バッテリー、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってください。

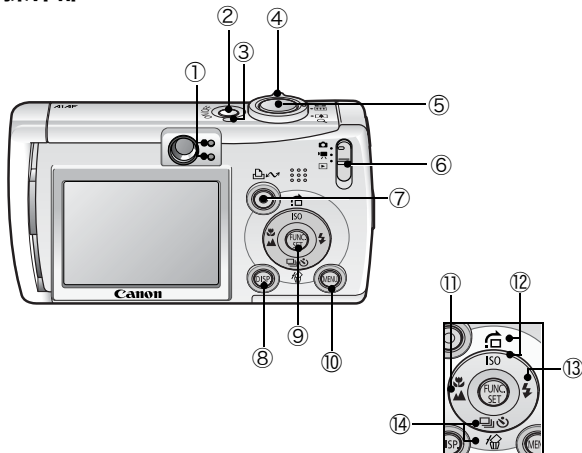
ご使用の前に - 各部の名称

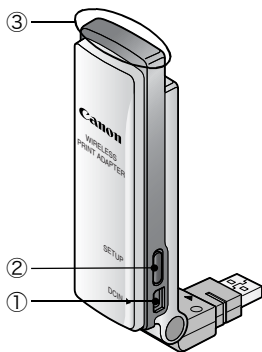
前面

① A/V OUT（映像 / 音声出力）端子（p.87）
② DIGITAL（デジタル）端子
③端子カバー
④リストストラップ取り付け部
⑤マイク（p.75）
⑥ AF 補助光投光部（p.31）
⑦赤目緩和ランプ（基本編 p.8）
⑧セルフタイマーランプ（p.41）
⑨ファインダー窓（p.23）
⑩ストロボ（基本編 p.8）
⑪レンズ
⑫無線ランプ（p.24）

- インターフェースケーブルと AV ケーブルは、同時に接続できません。

リストストラップの取り付けかた* 端子カバーの開けかた

* リストストラップを下げているときは、カメラを振り回すような持ちかたを避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

背面

①液晶モニター（p.17）
②ファインダー接眼部（p.23）
③三脚ねじ穴
④ DC カプラー端子カバー（p.118）
⑤メモリーカードスロット / バッテリーカバー（基本編 p.1）
⑥スピーカー
⑦バッテリー室（メモリーカード / バッテリー挿入部）

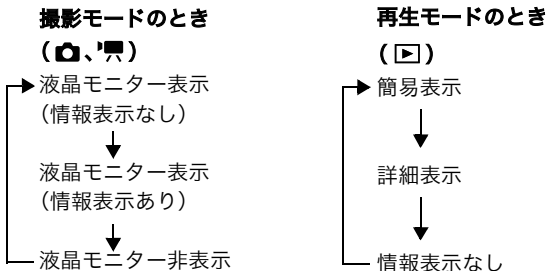
操作部

①ランプ（p.24）
②電源スイッチ（基本編 p.4）
③電源ランプ
④ズームレバー（p.68、基本編 p.7）
　撮影時：（広角）/（望遠）
　再生時：（インデックス）/（拡大）
⑤シャッターボタン（基本編 p.4）
⑥モードスイッチ（基本編 p.4、基本編 p.5）
⑦（イージーダイレクト）ボタン（基本編 p.14）
⑧ DISP.（ディスプレイ）ボタン（p.17）
⑨ FUNC./SET（ファンクション / セット）ボタン（p.29）
⑩ MENU（メニュー）ボタン（p.30）
⑪（マクロ）/（遠景）/ ← ボタン（基本編 p.9）
⑫ISO（ISO 感度）/（ジャンプ）/ ↑ ボタン（p.63、p.70）
⑬（ストロボ）/ → ボタン（基本編 p.8）
⑭（1 画像消去）/（連写）/（セルフタイマー）/ ↓ ボタン（p.39、p.41、基本編 p.11）

ワイヤレスプリントアダプター

① DC IN（電源入力）端子（p.93）
② SETUP（セットアップ）ボタン（p.97）
③無線ランプ（p.24）

ご使用の前に - 基本操作

液晶モニターの使いかた

1 DISP. を押す

●DISP.ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

●撮影モード時に、設定を変更したときは、上記の設定に関係なく約6秒間撮影情報が表示されます。

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、電源を切っても保持されます。
- 、、、 のとき、液晶モニターは消せません。
- インデックス再生時（p.69）は、詳細表示に切り換わりません。

時計を表示する

現在の日付と時刻を5秒間*表示する方法が、2 とおりあります。

*初期設定

①FUNC./SET ボタンを押しながら、電源を入れる

②撮影モード時に FUNC./SET ボタンを押し続ける

カメラを横にすると時計を表示し、縦にすると時計 / 日付を表示します。なお、カメラを縦にして①の方法で時計を表示した場合、初めは、カメラを横にしたときと同じように表示されます。

・時計の表示中に ◆/◆ ボタンを押すと、表示色を変更できます。
・時計の表示時間が経過するか、FUNC./SET ボタン、MENU ボタン、モードスイッチ、シャッターボタンのいずれかを操作すると時計表示が終了します。
・時計の表示時間は、［ 設定］メニューで変更できます（p.34）。

液晶モニターの明るさについて

液晶モニターの明るさの変更方法

次の 2 つの方法があります。

- **設定メニューで変更する（p.33）**
- **「LCD ブースター」機能で変更する**

DISP. ボタンを 1 秒以上押すと、設定メニューで選択されている明るさにかかわらず、最大の明るさに変更できます*。

- 元の明るさに戻すとき ：再度、DISP.ボタンを1 秒以上押す
- 次回電源を入れたとき ：設定メニューで選択されている明るさで表示される

*すでに、設定メニューで最大の明るさに設定されている場合は、変更できません。

「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも画角合わせがしやすくなります。

*液晶モニターに表示される被写体の動きがややぎこちなくなったり、ノイズが表示されることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報（撮影モードのとき）

[ ]* スポット測光枠

□* AF 枠（p.47）

* バッテリー残量低下（p.113）

ズーム倍率*（p.38）
グリッドライン*（p.31）

ISO 感度（p.63）

撮影方法（p.39、p.41）

マクロ / 遠景モード（基本編 p.9）

ストロボ（基本編 p.8）

縦横自動回転（p.64）

●（赤）*
動画撮影（p.43）

無線接続状態（p.95）

静止画：記録可能画像数
動画（秒数）：記録可能時間 / 記録時間

* AE ロック（p.49）

* FE ロック（p.49）

* AF ロック（p.48）

エリア設定（p.27）

*フォルダ作成通知（p.65）

* * * *

撮影モード（p.38、p.43、p.45、p.56、基本編 p.5）

-2…+2
露出補正（p.51）
1"…15"
長秒時設定時間（p.51）

ホワイトバランス（p.53）

色効果（p.55）

マイカラー（p.56）

測光方式（p.50）

圧縮率（p.36）

フレームレート（動画）（p.37）

記録画素数（p.36、p.37）

（赤）*手ぶれ警告（p.100）
（が表示されるときは、シャッタースピードも表示されます。）

露出シフトバー（動画）（p.45）

*情報表示なしのときも表示されます。

- ランプが橙色に点滅し、手ぶれ警告アイコン（ ）が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。ISO 感度を上げるか（p.63）、ストロボを （発光禁止）以外に設定するか、または三脚などでカメラを固定してください。

再生情報（再生モードのとき）

■簡易表示

■詳細表示

-2 ··· +2
露出補正（p.51）

ストロボ（基本編 p.8）

マクロ / 遠景モード（基本編 p.9）

色効果（p.55）

マイカラー（p.56）

測光方式（p.50）

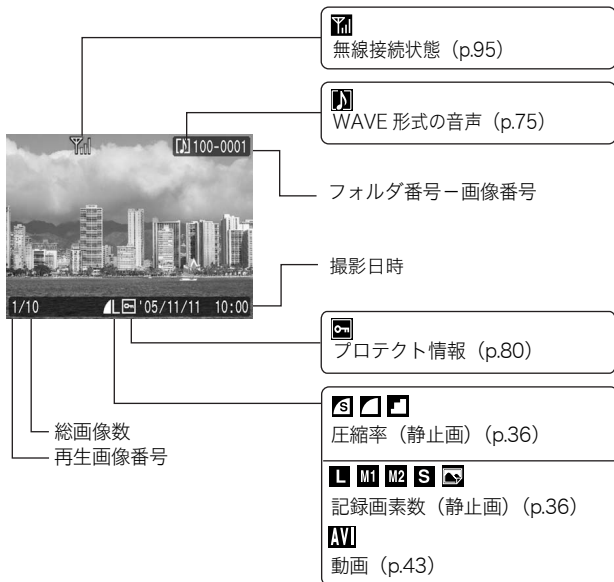
ホワイトバランス（p.53）

ファイルサイズ

パソコン転送済み（ソフトウェア＆ワイヤレスガイド）

記録画素数（静止画）（p.36）
記録時間（動画）（p.43）

撮影モード（p.38、p.43、p.45、p.56、基本編 p.5）

1" ··· 15"
長秒時設定時間（p.51）

ISO 50 ISO100 ISO200 ISO400
ISO 感度（p.63）

記録画素数 / フレームレート（動画）（p.37）

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

	WAVE ファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
!	DCF（p.124）の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
?	認識できないタイプです。

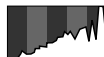
● 他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。

ヒストグラムについて

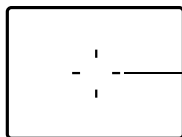
ヒストグラムは、撮影した画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します（p.51）。

ヒストグラム例

暗い画像

普通の明るさの画像

明るい画像

ファインダーの使いかた

液晶モニターを非表示にし（p.17）、ファインダーを使って撮影すると消費電力を抑えることができます。

ランプの点灯/点滅について

カメラとワイヤレスプリントアダプターのランプは、以下の場合に点灯・点滅します。

- ランプ点滅中は、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。
  - 振動や、衝撃を与える
  - 電源を切ったり、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開ける

カメラ

●上側のランプ

緑点灯：撮影準備完了
緑点滅：画像の記録 / 読み出し / 消去 / 転送（パソコン接続時）
橙点灯：撮影準備完了（ストロボ発光）
橙点滅：撮影準備完了（手ぶれ警告）

●下側のランプ

黄点灯：マクロ撮影 / 遠景撮影 /AF ロック撮影
黄点滅：ピントが合いにくいとき（電子音が 1 回鳴ります）。

●無線ランプ

青点灯：印刷・転送待機状態*
青点滅（遅い点滅）：接続中 / 接続先登録中
青点滅（速い点滅）：データ送受信中

*無線接続状態が非常に悪いときは、無線ランプと液晶モニターの Y が点滅します（p.95）。

ワイヤレスプリントアダプター

青点灯：無線接続状態
青点滅（遅い点滅）：無線接続待機状態
青点滅（速い点滅）：データ送受信中
青・橙点滅：接続先登録中
橙点灯：登録失敗
橙点滅：エラー*

*ワイヤレスプリントアダプターに異常が発生しました。ワイヤレスプリントアダプターをプリンターから取り外し、コンパクトパワーアダプターをお使いの場合は、ケーブルを差し直してから、再度プリンターに取り付けてください。頻繁にランプが橙色に点滅する場合は、サービスセンターへお持ちください。

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約 3 分間、何も操作しないとき。節電機能が［切］でも、液晶モニターを表示して約 1 分間＊[1] 何も操作しないと液晶モニターが消えます（電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます）。
再生時 プリンター接続時＊[2]	約 5 分間、カメラの操作を何もしないとき

＊[1] 時間を変更できます。
＊[2] 付属のインターフェースケーブルを使って、プリンターに接続時

- 以下の場合は、節電機能が働きません。
  - スライドショーで自動再生中
  - 無線接続時（再生モード時）
  - 付属のインターフェースケーブルを使ってのパソコン接続時
- 節電機能の設定を変更できます（p.33）。

メモリーカードを初期化する

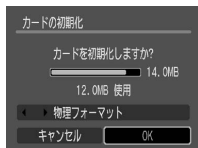
新しいメモリーカードをお使いになるときや、メモリーカード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化します。

- 初期化すると、メモリーカードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

1 （設定）メニュー▶［カードの初期化］

メニュー操作（p.30）

2 ［OK］を選び、を押す

- 物理フォーマットをする場合は、▲ボタンで［物理フォーマット］を選び、◀/▶ボタンでチェックをつけます。
- 物理フォーマットの場合、初期化中にFUNC./SETボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのメモリーカードは問題なくお使いいただけますが、データはすべて消去されます。

- 物理フォーマットについて
  <u>メモリーカードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合</u>などは、［物理フォーマット］を選択することをおすすめします。なお、メモリーカードによっては、物理フォーマットに 2 〜 3 分かかる場合があります。

世界時計を設定する

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付 / 時刻を設定し直す必要がなく便利です。

自宅 / 訪問先のエリアを設定する

1 (設定)メニュー ▶ [エリア設定] ▶ FUNC. SET

メニュー操作（p.30）

2 ▶ FUNC. SET

3 ←/→ボタンで自宅エリアを選ぶ ▶ FUNC. SET

- サマータイムを設定する場合は、↑/↓ボタンでを表示します。時刻は1時間プラスされます。

4 ▶ FUNC. SET

5 ←/→ボタンで訪問先エリアを選ぶ▶

●手順 3 と同様に、サマータイムを設定できます。

自宅エリアからの時差

6 ↑ボタンで[自宅/訪問先]を選び、←/→ボタンで🏠を選ぶ▶(MENU)

訪問先の日付に切り換える

1 (設定)メニュー▶[エリア設定]▶(FUNC. SET)

メニュー操作(p.30)

2 ←/→ボタンで✈を選ぶ▶(MENU)

●訪問先のエリアを変更する場合は、FUNC./SETボタンで変更します。

● 訪問先が選択されているときに、日付 / 時刻の変更を行うと、自宅の日時も自動的に変更されます。

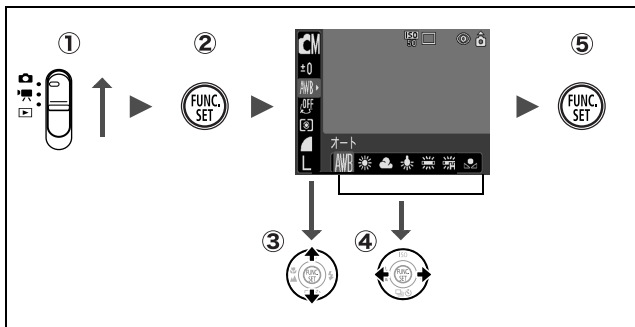
メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、日付 / 時刻、電子音、無線接続などのカメラの設定は、メニューを使って設定します。次のメニューがあります。

●FUNC. メニュー

●撮影 / 再生 / 無線 / 設定 / マイカメラメニュー

FUNC. メニュー

よく使う撮影時の機能を設定します。

① モードスイッチを 📷 または 🎥 にする

② FUNC./SET ボタンを押す

③ ▲/▼ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

④ ◀/▶ ボタンで設定内容を選ぶ

・設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。

・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ FUNC./SET ボタンを押す

撮影 / 再生 / 無線 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生時の便利な機能を設定します。

・撮影時のメニュー例です。
・再生時は、再生メニューが表示されます。

① MENU ボタンを押す

② ←/→ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ↑/↓ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ←/→ボタンで設定内容を選ぶ

・「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

・[(無線)] メニュー選択時は、メニュー項目によって設定方法が異なりますので、操作手順のページで詳細をご確認ください。

⑤ MENU ボタンを押す

メニュー一覧

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定を表します。

項目	参照先
撮影モード	基本編 p.5
動画撮影モード	p.43
露出補正	p.51
長秒時設定時間	p.51
ホワイトバランス	p.53
色効果	p.55

項目	参照先
マイカラー	p.56
測光方式	p.50
圧縮率	p.36
フレームレート（動画）	p.37
記録画素数（静止画）	p.36
記録画素数（動画）	p.37

撮影メニュー

*初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
AiAF	入* / 切	p.47
セルフタイマー	10 秒* / 2 秒 / カスタム（時間:0～10*、15、20、30秒）（枚数：1～3*～10 枚）	p.41
AF 補助光	入* / 切	–
デジタルズーム	入 / 切*（動画のスタンダードモード時は［入］）	p.38
撮影の確認	切 /2 秒*～10 秒 / ホールド	基本編 p.5
オリジナル保存	入 / 切*	p.58
グリッドライン表示	入 / 切*	被写体の水平や垂直を確認するグリッドライン（9 分割）を表示でき、構図を決めやすくなります。なお、グリッドラインは画像には記録されません。

日付写し込み	切* / 日付のみ / 日付＋時刻	p.40
長秒時撮影	入 / 切*	p.51
スティッチアシスト	左→右* / 左←右	p.45

再生メニュー

項目	参照先
プロテクト	p.80
回転	p.73
音声メモ	p.75
全消去	p.81
スライドショー	p.76
印刷指定	p.82
送信指定	p.85
再生効果	p.74

無線メニュー

*初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
接続 / 切断		p.94、ソフトウェア＆ワイヤレスガイド
接続先の登録		p.96、ソフトウェア＆ワイヤレスガイド
登録解除		p.98、ソフトウェア＆ワイヤレスガイド
撮影同時転送	入* / 切	ソフトウェア＆ワイヤレスガイド

設定メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を一度に消すときは［入］に設定します。ただし、警告音は［入］でも鳴ります（基本編 p.4）。
音量	切 /1/2＊ /3/4/5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、［消音］が［入］になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影の 2 秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、または音声メモの音量を調節します。
液晶の明るさ	－7～0＊～＋7	←/→ボタンで液晶モニターの明るさを調整します。↑/↓ボタンを押すと設定メニューに戻ります。液晶モニター表示時は、画像の明るさを確認しながら調整できます。
節電		p.25
オートパワーオフ	入＊ / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。

ディスプレイオフ	10 秒 /20 秒 /30 秒 /1 分* /2 分 /3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。
エリア設定	自宅* / 訪問先	p.27
日付／時刻		基本編 p.3
時計表示	0 ～ 5 *～ 10 秒 /20 秒 /30 秒 /1 分 /2 分 /3 分	p.18
カードの初期化		p.26
画像番号	オートリセット / 通し番号*	p.66
フォルダ作成		p.65
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切* / 毎日 / 月～日曜日 / 毎月	作成時間も設定できます。
縦横自動回転	入* / 切	p.64
言語		基本編 p.3
ビデオ出力方式	NTSC * /PAL	p.121
初期設定		p.35

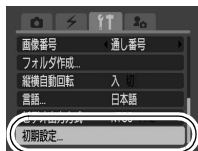
マイカメラメニュー

*初期設定

項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	p.88
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で撮影の 2 秒前をお知らせする音を選びます。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます（動画撮影時には鳴りません）。	
設定内容	(切) / 1 * / 2 / 3	

設定を初期状態に戻す

1 （設定）メニュー▶［初期設定］

メニュー操作（p.30）

2 ［OK］を選び、(FUNC./SET)を押す

- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - ［（無線）］メニューで設定した項目
  - ［（設定）］メニューの［エリア設定］、［日付 / 時刻］、［言語］、［ビデオ出力方式］の設定（p.34）
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（p.54）
  - マイカラーの［ワンポイントカラー］（p.59）と［スイッチカラー］（p.60）で取り込んだ色
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ（p.89）

記録画素数と圧縮率を変更する(静止画)

撮影モード

1 FUNC.メニュー▶ L *(記録画素数)/ *(圧縮率)

メニュー操作(p.29)

*初期設定

- ←/→ ボタンで記録画素数 / 圧縮率を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数			用途
L ラージ	2592 × 1944 画素	大きい	A4 サイズ以上を印刷するとき
M1 ミドル 1	2048 × 1536 画素	↕	A4 サイズまでを印刷するとき
M2 ミドル 2	1600 × 1200 画素		L判やはがきサイズを印刷するとき
S スモール	640 × 480 画素	小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき
L 判印刷	1600 × 1200 画素	L 判で印刷するとき(p.40)	

圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- 1 画像の容量(目安)(p.128)
- メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間(目安)(p.127)

記録画素数とフレームレートを変更する(動画)

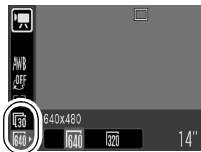
撮影モード

動画撮影モードが、(スタンダード) または(マイカラー) のとき、記録画素数やフレームレートを変更できます。

1 FUNC. メニュー▶ *(記録画素数)/ *(フレームレート)

メニュー操作(p.29)

*初期設定

- ←/→ ボタンで記録画素数/フレームレートを選び、FUNC./SET ボタンを押します。

記録画素数とフレームレートについて

	記録画素数	フレームレート		
		60 フレーム / 秒	30 フレーム / 秒	15 フレーム / 秒
スタンダード	640 × 480 画素	−	○	○
マイカラー	320 × 240 画素	−	○	○
スムーズ	320 × 240 画素	○	−	−
ライト	160×120画素	−	−	○

* フレームレートは、1 秒間に撮影 / 再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。
* 、では、記録画素数およびフレームレートが固定になります。

- 1 画像の容量(目安)(p.128)
- メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間(目安)(p.127)

至近距離で拡大して撮る(デジタルマクロ)

撮影モード

レンズ前面から被写体までの距離が 3 ～ 10cm のときに使います(ワイド端固定)。デジタルズームの倍率が最大(約 4.0 倍)のときの撮影範囲は 9 × 7mm です。

1 FUNC.メニュー ▶ * (オート) ▶ (デジタルマクロ)

メニュー操作(p.29)

*初期設定

2 ズームレバーで画角を決め、撮影する

デジタルズームで撮る

撮影モード

光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。
・静止画:最大約 12 倍
・動画(スタンダード):最大約 12 倍

● 液晶モニターが消えているときは、デジタルズームは使えません。

1 (撮影)メニュー ▶ [デジタルズーム] ▶ [入]

メニュー操作(p.30)

2 ズームレバーを[T]側に押し、撮影する

- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します(静止画撮影時)。再度[T]側へ押すと、デジタルズームが働き、さらに拡大できます。
- [W]側へ押すと、倍率が下がります。

- デジタルズームは、拡大すると画像が粗くなります。

連続して撮る

撮影モード

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。なお、推奨メモリーカード*をお使いの場合は、一定の撮影間隔でメモリーカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます（p.127）。

***推奨メモリーカード：**

物理フォーマット（p.26）直後の超高速の SDC-512MSH（別売）

・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・連続撮影が中断したときに、メモリーカードの容量が余る場合があります。

1 ボタンを押して、を表示する

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた：ボタンを 2 回押して を表示する

- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

L判印刷モードに設定する

撮影モード

液晶モニターで印刷範囲（縦横比　約 3：2）を確認しながら、「L判」や「はがき」サイズの印刷に最適な撮影ができます。

1 FUNC.メニュー ▶ L *（記録画素数）▶（L判印刷）

メニュー操作（p.29）

*初期設定

- 記録画素数は M2（1600 × 1200）、圧縮率は（ファイン）になります。
- シャッターボタンを半押しすると、印刷されない領域がグレーになります。

- デジタルズームは使用できません。

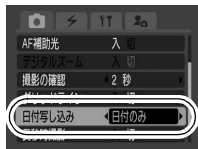
- 印刷については、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

画像に日付を写し込む

（L 判印刷）のとき、画像に日付を写し込むことができます。

1 （撮影）メニュー ▶［日付写し込み］▶［日付のみ］/［日付＋時刻］

メニュー操作（p.30）

- 液晶モニターの表示
  - ：［切］
  - ：［日付のみ］/［日付＋時刻］

- あらかじめカメラの日付 / 時刻が正しく設定されていることを確認してください（p.34）。
- 画像に写し込んだ日付は削除できません。

セルフタイマーで撮る

撮影モード

シャッターボタンを押してから、10 秒後（ ）、2 秒後（ ）、または撮影の開始時間や撮影枚数を設定（ ：カスタム）して撮影できます。

1 ボタンを押して、 、 または を表示する

2 撮影する

●シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーランプが点滅（赤目緩和の場合は2秒前から点灯）します。

解除のしかた：ボタンを押して、 を表示する

- セルフタイマー音を変更する（p.34）

セルフタイマーの時間を変更する（ / ）

1 （撮影）メニュー▶［セルフタイマー］▶ /

メニュー操作（p.30）

●次のようになります。
- ：撮影の2秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
- ：シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が鳴り、2秒後に撮影されます。

撮影開始時間と撮影枚数を変更する（⏱c）

開始時間（0 ～ 10、15、20、30 秒）や撮影枚数（1 ～ 10 枚）を変更できます。ただし、スティッチアシスト、動画モード、マイカラーモードでは設定できません。

1 **(撮影)メニュー▶[セルフタイマー]▶ ⏱c ▶ (FUNC. SET)**

メニュー操作（p.30）

2 **[時間]/[枚数]を変更▶ (FUNC. SET)**

- セルフタイマー音は、次のようになります。
  - 時間を設定したときは、撮影の2秒前から鳴り始めます。
  - [枚数]で複数画像を設定した場合、1 画像目の撮影時のみ鳴ります。

- ［枚数］が 2 枚以上の場合、次のようになります。
  - 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスがロックされます。
  - ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
  - カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
  - メモリーカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

動画を撮る

撮影モード

動画撮影には、次の4つのモードがあります。

スタンダード

記録画素数やフレームレートを選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH））。
また、撮影中にデジタルズームが使えます（p.38）。

- 記録画素数：[640 (640 × 480)]、[320 (320 × 240)]
- フレームレート：[30 (30フレーム/秒)]、[15 (15フレーム/秒)]
- 1回の最大記録容量：1GB

スムーズ

スポーツなどの速い動きの撮影に使います。

- 記録画素数：[320 (320 × 240)]
- フレームレート：[60 (60フレーム/秒)]
- 1回の最長記録時間：1分

ライト

記録画素数が小さいため容量が少なく、メールに添付したり、メモリーカードの容量が少ないときなどに使うと便利です。

- 記録画素数：[160 (160 × 120)]
- フレームレート：[15 (15フレーム/秒)]
- 1回の最長記録時間：3分

マイカラー

画像の色味を変化させて撮影できます（p.56）。
スタンダードと同様に、記録画素数やフレームレートを選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH））。

- 記録画素数：[640 (640 × 480)]、[320 (320 × 240)]
- フレームレート：[30 (30フレーム/秒)]、[15 (15フレーム/秒)]
- 1回の最大記録容量：1GB

・記録可能時間は、お使いのメモリーカードによって異なります（p.127）。

1 FUNC.メニュー▶ *(スタンダード)

メニュー操作（p.29）

*初期設定

- ◆/◆ ボタンで動画撮影モードを選び、FUNC./SETボタンを押します。
- 、の場合は、記録画素数やフレームレート(p.37)を変更できます。

2 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。
- シャッターボタンを全押しすると撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニターに撮影秒数と[●録画]が表示されます。
- 再度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
  - 最長記録時間を経過したとき
  - カメラ内部のメモリーやメモリーカードの容量がいっぱいになったとき

- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p.26）。付属のメモリーカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイクに触れないようにしてください。
  - シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- フォーカス、光学ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- 無線接続時は、動画は撮影できません。

- 撮影前に、AE ロック（p.49）と露出シフトができます。
  1. ISOボタンを押す
     露出が固定（AE ロック）し、液晶モニターに露出シフトバーが表示されます。
  2. ←/→ ボタンで露出を変更する
     もう一度、ISOボタンを押すと解除できます。また、MENUボタンを押したり、ホワイトバランス、色効果、撮影モードを変更すると解除されます。
- 動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0 以上が必要です (付属の Canon Digital Camera Solution Disk には、Windows 版の QuickTime が収められています。なお、Mac OS X 以降には標準装備されています)。

撮影する

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

撮影モード

スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

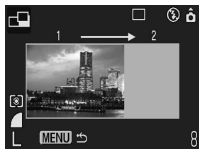
1 (撮影)メニュー▶[スティッチアシスト]

メニュー操作(p.30)

2 撮影方向を選ぶ▶(FUNC. SET)

●次の2つの方向が選べます。
- :左から右方向へ水平に撮影します。
- :右から左方向へ水平に撮影します。

3 最初の画像を撮影する

●1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

4 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

● ←/→ ボタンを押すと、1つ前の撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
●オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。

5 同様の操作で3画像目以降を撮影する

●最大26画像まで撮影できます。
●最後の撮影後、MENUボタンを押します。

● 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
● 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

● パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

ピントの合わせかたを切り換える

撮影モード

AiAF 機能の設定によって､次の 2 つのピントの合わせができます。

(枠なし)	入	撮影状況に応じて、9 つの AF 枠の中からカメラが自動的に AF 枠を選択してピントを合わせます。
□	切	中央の AF 枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

1 (撮影)メニュー▶[AiAF]▶[入]/[切]

メニュー操作(p.30)

- デジタルズーム使用時は､AF枠は中央1点に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、AF 枠の表示は、次のようになります(液晶モニターがついているとき)。
  ･緑色:撮影準備完了
  ･黄色:ピントが合いにくいとき(AiAF が[切]のとき)

ピントが合いにくい被写体を撮る(フォーカスロック､AFロック)

撮影モード

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- **コントラストが極端に低い被写体**
- **近いものと遠いものが混在する被写体**
- **画像中央部が極端に明るい被写体**
- **高速で移動する被写体**
- **ガラス越しの被写体:できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。**

撮影する

フォーカスロックで撮る

どの撮影モードでも操作できます。

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、ファインダー中央または液晶モニターのAF枠に収める

2 シャッターボタンを半押しする

3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

CM、D、(icon)、(icon)で操作できます。

1 液晶モニターをつける

2 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF枠に収める

3 シャッターボタンを半押ししながら、(icon)/▲ボタンを押す

- AFLが表示され、ランプが黄色に点灯します。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：(icon)/▲ボタンを押す

- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたは AF ロック撮影をする場合、AiAF を [切]（p.31）にすると、中央の AF 枠 1 点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。
- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。

露出を固定して撮る（AEロック）

撮影モード

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

- ストロボは必ず に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボが発光すると、AEロックが働きません。

1 液晶モニターをつける

2 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししながら、ISOボタンを押す

- AEL が表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：ISOボタンを押す

- のときも、AE ロックの設定 / 解除ができます（p.45）。
- ストロボをお使いのときは、FE ロックをお使いになれます。

FEロックで撮る

撮影モード

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 液晶モニターをつける

2 ボタンを押して、（常時発光）にする

3 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししながら、ISOボタンを押す

●ストロボがプリ発光し、FEL が表示されます。

5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：ISOボタンを押す

測光方式を切り換える

撮影モード

1 FUNC.メニュー ▶ *（評価測光）

メニュー操作（p.29）

*初期設定

● ←/→ ボタンで測光方式を選び、FUNC./SETボタンを押します。

測光方式の種類

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

露出を補正する

撮影モード

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまったり、夜景の撮影でライトが明るすぎるようなときに、露出を補正します。

1 **FUNC.メニュー▶ *（露出補正）**

メニュー操作（p.29）

*初期設定

- ◆/◆ ボタンで露出を補正し、FUNC./SETボタンを押します。

解除のしかた：補正値を「0」に戻す

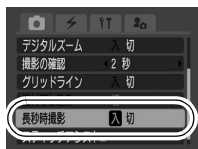
- マイカラーが、、の場合、露出補正は設定できません。
- のときは露出シフトの設定 / 解除ができます（p.45）。

長秒時設定に変更する

撮影モード

暗い被写体を明るく撮影したいときは、シャッタースピードを遅くして、撮影できます。

1 **（撮影）メニュー▶［長秒時撮影］▶［入］**

メニュー操作（p.30）

2 FUNC.メニュー ▶ ±0 *（露出補正）▶ (MENU)

メニュー操作（p.29）

*初期設定

3 ←/→ボタンでシャッタースピードを選ぶ ▶ (FUNC. SET)

●数値が大きいほど明るくなり、数値が小さいほど暗くなります。

解除のしかた：長秒時撮影の FUNC. メニューが表示されているときに、MENU ボタンを押す

- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、このカメラはシャッタースピードが 1.3 秒より遅くなると、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- 意図した明るさで撮影されているかは、液晶モニターで確認してください。
- シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれしやすくなります。三脚を使って撮影してください。
- ストロボを発光すると、露出オーバーになることがあります。その場合はストロボを ⊛ にして撮影してください。
- 長秒時設定で撮影するときは、次の設定ができません。
  ・露出補正　　・測光方式　　・AE ロック
  ・FE ロック　　・ISO 感度［オート］
  ・ストロボ［オート］［オート（赤目緩和）］

色合いを調整する(ホワイトバランス)

撮影モード

通常は、AWB（オート）で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWB で自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

1 FUNC.メニュー▶ AWB *(オート)

メニュー操作（p.29）

*初期設定

● ←/→ ボタンでホワイトバランスを選び、FUNC./SET ボタンを押します。

ホワイトバランスの種類

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものをカメラに記憶させ、最適な白データを取り込んでから撮影できます。

● 色効果が S BW の場合、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを使うには

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、(マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。

・至近距離（マクロ）で撮影するとき
・単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC.メニュー ▶ AWB *（オート）▶ (マニュアル）

メニュー操作（p.29）

*初期設定

2 白い紙や布にカメラを向け、MENU を押す

●液晶モニター使用時は中央の枠いっぱいに、ファインダー使用時は画面いっぱいに白い紙や布を表示させてください。

- 撮影モードを にし、露出補正を± 0 にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。オート / オート（赤目緩和）で、白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 設定したマニュアルホワイトバランスは、カメラの設定を初期設定に戻しても解除されません（p.35）。

色効果を切り換える

撮影モード

色効果を切り換えると、画像の印象を変えて撮影できます。

1 FUNC.メニュー ▶ *（効果切）

*メニュー操作**（p.29）*

*初期設定

- ←/→ ボタンで色効果を選び、FUNC./SETボタンを押します。

色効果の種類

	効果切	通常設定
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする
	ソフト	輪郭の強調を抑える
	セピア	セピア色にする
	白黒	白黒にする

マイカラーで撮る

撮影モード

マイカラーは、赤、緑、青の色のバランスを変えたり、色白や日焼けした肌にしたり、画面内の指定した色を別の色にするなど、画像の色味を簡易的に変化させて撮影できる機能です。静止画はもちろん、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前に試し撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、[オリジナル保存] 機能（p.58）を [入] にすれば、マイカラーの画像だけでなく、オリジナル画像（元画像）も記録できます。

マイカラーの種類

	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」・「あざやかグリーン」・「あざやかレッド」の効果を合わせたもので、青、緑、赤色をより鮮やかに撮影できます。 ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
	色白肌*	人物の肌を色白に撮影できます。
	褐色肌*	人物の肌を褐色に撮影できます。
	あざやかブルー	青色を強調して撮影できます。空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。

	あざやか グリーン	緑色を強調して撮影できます。山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかレッド	赤色を強調して撮影できます。赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	ワンポイント カラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみで、複数の色から選択はできません。
	カスタムカラー	赤 / 緑 / 青 / 肌色*のバランスを自由に設定して撮影できます。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

*被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。
*肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

1 FUNC.メニュー▶ (マイカラー:静止画)/ (マイカラー:動画)

メニュー操作 (p.29)

静止画時

動画時

2 FUNC.メニュー▶ *(ポジフィルムカラー)

メニュー操作 (p.29)

*初期設定

● ←/→ ボタンでマイカラーモードを選びます。

3 撮影する

● 〔P〕、〔L〕、〔D〕、〔B〕、〔G〕、〔R〕**のとき**

FUNC./SETボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

● 〔A〕、〔S〕、〔C〕**のとき**

それぞれの設定手順をご覧ください。

〔A〕: ワンポイントカラーモードに設定する(p.59)

〔S〕: スイッチカラーモードに設定する(p.60)

〔C〕: カスタムカラーモードに設定する(p.62)

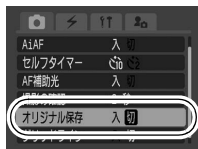
● 撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

オリジナル画像の保存方法を変更する

マイカラーで静止画を撮影するときは、マイカラーの画像だけでなく、オリジナル画像（元画像）も記録するかどうかを設定できます。

1 〔撮影〕(撮影)メニュー▶[オリジナル保存]▶[入]/[切]

メニュー操作（p.30）

● [入]の場合、画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、マイカラーで撮影した画像が後の番号です。

- **［オリジナル保存］を［入］に設定した場合**
  - 撮影時に液晶モニターに表示される画像は、マイカラーで設定している画像だけです。
  - 撮影直後に液晶モニターに表示される画像は、マイカラーで撮影した画像になります。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
  - 1回の撮影で2画像記録されるため、液晶モニターに表示される記録可能画像数は、設定が［切］の場合の半分になります。

ワンポイントカラーモードに設定する

画面内の指定した色以外を白黒で撮影します。

1 **(ワンポイントカラー) ▶ MENU**

メニュー操作（p.29）
（p.29）

- 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像(前回設定した指定色が反映)が交互に表示されます。

2 **液晶モニターの中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、◆ボタンを押す**

- 指定できるのは1色です。
- ▲/▼ ボタンで、残したい色の範囲を変更できます。
  - 5：残したい色だけを取り込みます。
  +5：残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

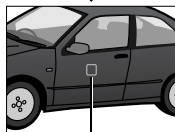
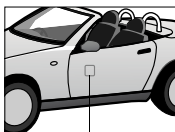
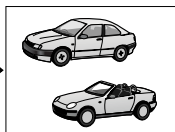
3

- 設定を終了します。
- このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

- 初期設定色は緑です。
- ストロボを発光したり、色取り込み後に、ホワイトバランスや測光方式を変更して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーモードに設定する

画面内の指定した色を別の色に変えて撮影します。

1 (スイッチカラー) ▶ (MENU)

メニュー操作 (p.29)

- 色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像(前回設定した指定色が反映)が交互に表示されます。

2 液晶モニターの中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、◆ ボタンを押す

- 指定できるのは1色です。
- ▲/▼ ボタンで、変えたい色の範囲を変更できます。
  - -5：変えたい色だけを取り込みます。
  - +5：変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

3 液晶モニターの中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、◆ ボタンを押す

- 指定できるのは1色です。

4

- 設定を終了します。
- このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

- 初期設定色は、緑を白に変えて撮影するように設定されています。
- ストロボを発光したり、色取り込み後に、ホワイトバランスや測光方式を変更して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色は、電源を切っても記憶されます。

カスタムカラーモードに設定する

赤、緑、青、肌色の、それぞれの色のバランスを調整して撮影します。

1 (カスタムカラー)

メニュー操作（p.29）

2 ▲/▼ボタンで[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選び、◀/▶ボタンで色合いを調整する

●調整結果が表示されます。

色を選ぶ　色合いを調整する

3

●設定を終了します。

●このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

ISO ISO感度を変更する

撮影モード

暗いところで手ぶれを抑えたり、ストロボをオフにして撮影したいとき、あるいはシャッタースピードを速くしたいときには、ISO 感度を上げます。

1 ISOボタンを押して、切り換える

- ISOボタンを押すごとに、ISO 50→ISO 100→ISO 200→ISO 400→[オート(表示なし)]に切り換わります。
- [オート(表示なし)]を選ぶと、最適な画質になる感度に設定されます。

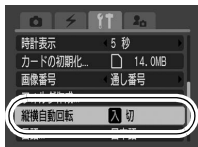
縦横自動回転の設定をする

撮影モード

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 (設定)メニュー ▶ [縦横自動回転] ▶ [入]/[切]

メニュー操作（p.30）

- 縦横自動回転を[入]にすると、液晶モニターに(情報表示ありのとき)、(通常)、(右が下)、または(左が下)が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

- このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。
- 撮影モードで[入]に設定したときは、撮影した画像に縦横方向が記録されます。
- 再生モードで [入] に設定したときは、カメラの向きに応じて、画像の天地を正しく液晶モニターに表示します（ただし、撮影モードで [縦横自動回転] を [入] にして撮影した画像のみ）。

画像の保存先（フォルダ）を作成する

撮影モード

任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

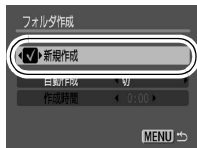
新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します

1 （設定）メニュー▶［フォルダ作成］

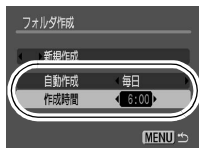
メニュー操作（p.30）

次回撮影時にフォルダを作成する

2 ←/→ボタンで［新規作成］にチェックマークをつける ▶

- 液晶モニターにが表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

指定した日時にフォルダを作成する

2 **[自動作成]で作成日を選び、[作成時間]で時刻を設定する▶(MENU)**

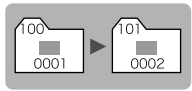
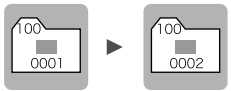
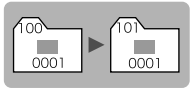
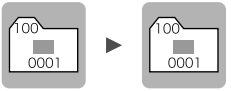
●指定した時間になると、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

● ひとつのフォルダに 2000 画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

画像番号をリセットする

撮影モード

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

1 **(設定)メニュー▶[画像番号]▶[オートリセット]/[通し番号]**

メニュー操作（p.30）

画像番号リセット機能について

通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけられます。そのため、フォルダを変更したり、メモリーカードを交換*したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号が初期値（100-0001）に戻ります*。フォルダ単位で管理する場合に便利です。

*新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 ～ 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 ～ 999 までの番号が割り振られます。
ひとつのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

	フォルダを新規に作成した場合	他のメモリーカードに交換した場合
通し番号	メモリーカード 1 100 / 0001 ▶ 101 / 0002	メモリーカード 1　メモリーカード 2 100 / 0001 ▶ 100 / 0002
オートリセット	メモリーカード 1 100 / 0001 ▶ 101 / 0001	メモリーカード 1　メモリーカード 2 100 / 0001 ▶ 100 / 0001

・次の設定で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、2000 画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
  ・連続撮影　・セルフタイマー（カスタムの場合）
  ・スティッチアシスト
  ・マイカラー（[オリジナル保存］が［入］の場合）
・同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
・フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェア&ワイヤレスガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

基本編（p.10）もご確認ください。

拡大して見る

1 ズームレバーを側に押す

- が表示され、拡大表示になります。
- 画像を最大約 10 倍まで拡大して表示できます。

表示位置の目安

2 ▲/▼または◀/▶ボタンで表示位置を変更する

- 拡大再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、画像送りモードになり、が表示されます。◀/▶ ボタンで拡大したまま前または次の画像を表示できます。再度FUNC./SETボタンを押すと、画像送りモードを解除します。
- ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた：ズームレバーを側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

- 動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9画像ずつまとめて見る（インデックス再生）

1 ズームレバーを側に押す

- 9画像ずつ表示されます。
- ↑/↓ または ←/→ ボタンで選択画像を切り換えます。

9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にズームレバーを側に押すと、ジャンプバーが表示され、9 画像ずつ表示の切り換えができます。

- ←/→ ボタンで前または次の9画像を表示します。
- FUNC./SETボタンを押しながら ←/→ ボタンを押すと、最初または最後の9画像を表示します。

解除のしかた：ズームレバーを 側に押す

目的の画像にジャンプする

メモリーカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の 5 つの検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	10 枚ジャンプ	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚ジャンプ	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する
	日付ジャンプ	各撮影日の先頭画像を表示する
	動画ジャンプ	動画を表示する
	フォルダジャンプ	各フォルダの先頭画像を表示する

1 シングル再生時に、ボタンを押す

- 検索ジャンプモードになります。
- 検索キーによって、画面例は若干異なります。

現在表示中の画像位置

検索キーに合致した画像数

2 ▲/▼ボタンで検索キーを選び、◀/▶ ボタンを押す

解除のしかた：MENU ボタンを押す

動画を見る

- インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示し、(FUNC./SET)を押す

- SET 🎥の表示されている画像が動画です。

2 ▶（再生）を選び、(FUNC./SET)を押す

- 再生中にFUNC./SETボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。FUNC./SETボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。

動画再生パネルの操作

	シングル再生に戻る
	動画の印刷（プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。）
	動画の転送（パソコン接続時にアイコンが表示されます。詳細はソフトウェア&ワイヤレスガイドをご覧ください。）
	再生
	スロー再生（スロー再生の速度は、◀ボタンで遅く、▶ボタンで速くできます。）
	先頭フレームを表示
	フレーム戻し（FUNC./SET ボタンを押し続けると早戻しします。）
	フレーム送り（FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします。）
	最終フレームを表示
	編集（動画編集モードに切り換えます。）（p.72）

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p.87）。
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部分を削除できます。

- 編集前の長さが 1 秒以上の動画を編集できますが、プロテクトされている動画、撮影時間が 1 秒未満の動画は編集できません。

1 動画再生パネルの（編集）を選び、FUNC./SETを押す

- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

動画編集パネル

動画編集バー

2 ▲/▼ボタンで（前部を削除）または（後部を削除）を選び、◀/▶ボタンで削除する位置（）を指定する

- 仮編集した動画を確認するときは、（再生）を選んでFUNC./SETボタンを押します。
- （終了）を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

3 （保存）を選び、FUNC./SETを押す

4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、(FUNC/SET)を押す

- [新規保存]:新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中にFUNC./SETボタンを押すと、保存を中止できます。
- [上書き保存]:編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
- メモリーカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

- 編集した動画を保存するとき、約 3 分かかることがあります。途中でバッテリーがなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、フル充電のバッテリーあるいは AC アダプターキット ACK-DC10（別売）の利用をおすすめします（p.118）。

回転して表示する

時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。

元画像

90度

270度

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p.30）

2 ←/→ボタンで回転する画像を選び、(FUNC./SET)を押して回転する

- FUNC./SET ボタンを押すごとに、90 度→ 270 度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。

- 動画は回転できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

効果をつけて再生する

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

Off	通常表示
	表示中の画像が暗くなり、次の画像が徐々に明るく表示されます。
	←ボタンを押すと左側から前の画像が、→ボタンを押すと右側から次の画像が表示されます。

1 (再生)メニュー▶ ▶ /

メニュー操作(p.30)

- 画像の読み出し中に次の画像に切り換えたときは、効果は表示されません。

音声メモをつける

画像の再生中(シングル再生、インデックス再生)に、最長 60 秒の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE 形式で保存されます。

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作(p.30)

2 ←/→ボタンで音声メモをつける画像を選び、FUNC./SET を押す

●音声メモパネルが表示されます。

3 (録音)を選び、FUNC./SET を押す

●録音時間と録音可能時間が表示されます。
●FUNC./SET ボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
●1画像につき、合計が60秒に達するまで音声メモを追加できます。

音声メモパネルの操作

	設定を終了します。
	録音
	停止
	再生
	消去 表示される画面で［消去］を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

画像を自動再生する(スライドショー)

メモリーカード内の画像を自動再生します。

・スライドショーの画像指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています（p.82）。

	全画像	メモリーカード内のすべての画像を順に再生します。
	日付	指定した日付の画像を順に再生します。
	フォルダ	指定したフォルダ内の画像を順に再生します。
	動画	動画のみを順に再生します。
	静止画	静止画のみを順に再生します。
～	カスタム 1 ～ カスタム 3	カスタム 1 ～ 3 でマークされている画像を順に再生します（p.78）。

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作（p.30）

2 、、、、、～のいずれかを選ぶ

- 、のとき：再生する日付、またはフォルダを選びます(p.78)。
- ～のとき：再生する画像を選びます(p.78)。
- 効果をつけて再生する場合は、▲ボタンで[効果]を選び、◀/▶ボタンで種類を選びます(下記参照)。

3 [スタート]を選び、(FUNC. SET)を押す

- 自動再生中は、次のことができます。
  - スライドショーの一時停止/再開：FUNC./SETボタンを押す
  - 画像の送り / 戻り：◀/▶ボタンを押す(ボタンを押し続けると早く進みます。)

  - スライドショーの中止：MENUボタンを押す

効果の種類

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

Off	通常表示
	次の画像が徐々に明るくなりながら、画面の下から上方向に表示されます。
	初めに十字型に画像が表示され、徐々に全画像が表示されます。
	画像の一部が横方向に動きながら、徐々に全画像が表示されます。

- シングル再生時（静止画表示中）、FUNC./SET ボタンを押しながら ボタンを押すと、表示中の画像からスライドショーを開始できます。なお、最後に撮影した画像を表示中のときは、その画像と同じ日付の先頭の画像から開始されます。

再生する日付 / フォルダを選ぶ（▦、□）

1 ▦または□を選び、(FUNC. SET)を押す

2 ←/→ボタンで再生する日付またはフォルダを選び、(MENU)を押す

日付

フォルダ

再生する画像を選ぶ（★1～★3）

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、［カスタム 1］から［カスタム 3］に保存します。最大 998 画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。

1 ★1～★3のいずれかを選び、(FUNC. SET)を押す

- 初めは、★1 だけが表示されます。★1 を設定すると、表示が★1√に変わり、★2 が表示されます。★2 ★3 も、同じように表示が変わっていきます。

2 ←/→ボタンで再生する画像を選び、(FUNC. SET)で選択または選択を解除する

- インデックス再生にしても選択できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

- すべての画像を指定するとき
  1. 手順 1（p.78）で、★1 〜★3 のいずれかを選んだ後、↑ボタンで［全画像］を選び、FUNC./SET ボタンを押す
  2. ↑ボタンで［全画像指定］を選び、FUNC./SET ボタンを押す
  3. →ボタンで［OK］を選び、FUNC./SET ボタンを押す

  設定後に解除する場合には、［リセット］を選びます。

再生間隔やリピート設定をする

●再生間隔

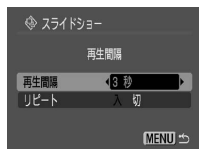
スライドショーで 1 画像を表示する時間を指定します。3 〜10 秒、15 秒、30 秒を指定できます（画像によって再生間隔時間は多少異なります）。

●リピート

スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。

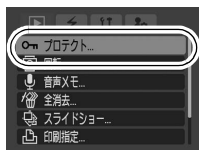
1 ［設定］を選び、(FUNC. SET)を押す

2 [再生間隔]または[リピート]を選び、設定したい内容を選ぶ

●MENUボタンを押すと、設定を終了します。

画像をプロテクト(保護)する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトを設定できます。

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作(p.30)

2 プロテクトしたい画像を選び、(FUNC./SET)を押す

●再度FUNC./SETボタンを押すと設定を解除できます。
●インデックス再生にしても設定できます。

プロテクトマーク

全画像を消去する

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p.30）

2 [OK]を選び、FUNC. SETを押す

●全消去を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

- 画像データだけでなく、メモリーカードの記録内容をすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化してください（p.26）。

印刷指定 / 送信指定する

DPOFの印刷指定

メモリーカードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。カメラダイレクト対応プリンターで一括で印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたメモリーカードの場合、⚠ が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

1 ▶(再生)メニュー▶ 🖶

メニュー操作（p.30）

1 画像ずつ指定する

2 [画像指定]を選び、(FUNC. SET) を押す

● [リセット]を選ぶと、印刷指定をすべて解除します。

3 印刷する画像を選ぶ

●印刷タイプの設定(p.84)によって異なります。

- スタンダード(■)/両方(■▦)
画像を選び、FUNC./SET ボタンを押して ▲/▼ ボタンで印刷枚数を指定します(最大99枚まで)。

印刷枚数表示

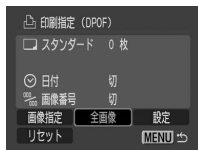
- インデックス(▦)
画像を選び、FUNC./SET ボタンで指定、指定解除を行います。

インデックス印刷の選択

●インデックス再生にしても設定できます。

メモリーカード内のすべての画像を指定する

2 [全画像]を選び、(FUNC./SET)を押す

●[リセット]を選ぶと、印刷指定をすべて解除します。
●すべての画像に対して1枚ずつ印刷指定されます。

3 [OK]を選び、(FUNC./SET)を押す

- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は印刷指定できません。

- 画像番号の順に印刷されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。
- ［印刷タイプ］が［両方］の場合、印刷枚数は指定できますが、［インデックス］の場合は指定できません。［インデックス］は 1 枚のみ印刷されます。
- 日付を写し込んだ画像を印刷する場合、DPOF の印刷指定で日付を入れる設定をしないでください。日付が重複して印刷されます。

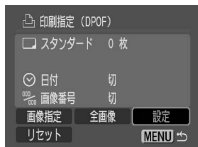
印刷スタイルを設定する

次の印刷スタイルを設定できます。

印刷タイプ	スタンダード	用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付		日付を入れて印刷します。
画像番号		画像番号を入れて印刷します。

1 **（再生）メニュー ▶**

メニュー操作（p.30）

2 **［設定］を選び、FUNC. SET を押す**

3 **［印刷タイプ］、［日付］、［画像番号］のいずれかを選び、設定したい内容を選ぶ**

- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - ［インデックス］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に設定できません。
  - ［スタンダード］または［両方］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に［入］に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- （L判印刷）で日付を写し込んだ画像（p.40）は、［日付］が［切］でも、写し込んだ日付が印刷されます。
- 日付は、［日付 / 時刻］で設定した日付スタイルで印刷されます（p.34）。

DPOFの送信指定

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェア&ワイヤレスガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF に準拠しています。

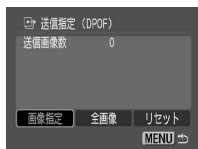
DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたメモリーカードの場合、▲が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 （再生）メニュー ▶

メニュー操作（p.30）

1 画像ずつ指定する

2 **[画像指定]を選び、(FUNC/SET)を押す**

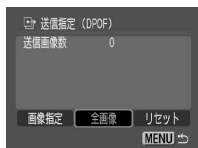
- [リセット]を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 **送信する画像を選び、(FUNC/SET)を押す**

- 再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。

送信画像の選択

メモリーカード内のすべての画像を指定する

2 **[全画像]を選び、(FUNC/SET)を押す**

- [リセット]を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 **[OK]を選び、(FUNC/SET)を押す**

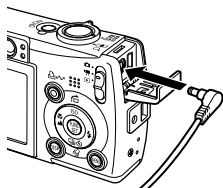
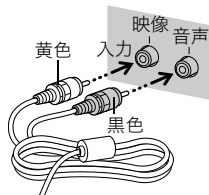
- 画像番号の順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

テレビを使って撮影 / 再生する

付属の AV ケーブルをお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力形式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラのA/V OUT端子にAVケーブルを接続する

- 端子カバーをスライドして開き、AV ケーブルを奥まで差し込みます。

3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

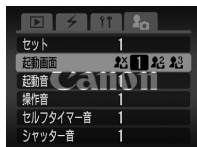
5 カメラの電源を入れる

- ビデオ出力形式の設定方法（p.34）

カメラを自分好みにする（マイカメラ機能）

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。これらを変更したり登録して、カメラを自分好みの設定に変えることができます。

マイカメラコンテンツを変更する

1 （マイカメラ）メニュー▶メニュー項目

メニュー操作（p.30）

2 設定したいコンテンツを選ぶ

●すべて同じコンテンツに設定したいときは、[セット]を選びます。

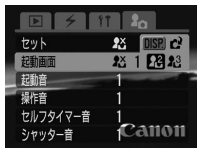
マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの［2］［3］には、メモリーカードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

- マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/ImageBrowser）を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

1 **モードスイッチ ▶（再生）▶ （マイカメラ）メニュー ▶登録したいメニュー項目**

メニュー操作（p.30）

2 **2または3を選び、DISP.を押す**

3 登録したい画像を選択、または音声を録音する

●**起動画面**

登録したい画像を選んで、FUNC./SETボタンを押します。

●**起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音**

●(録音)を選び、FUNC./SETボタンを押します。録音後、(登録)を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

- 録音時間が経過すると、自動的に録音が終了します。
- 再生するときは、▶(再生)を選びます。
- マイカメラメニューに戻るときは、(終了)を選びます。

4 [OK]を選び、(FUNC. SET)を押す

●登録を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

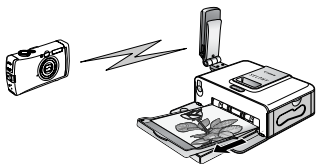
- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - 動画
  - 音声メモ機能（p.75）で録音した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

- マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェア&ワイヤレスガイドをご覧ください。

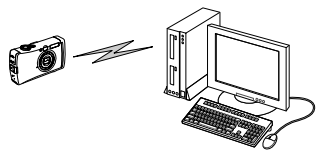
無線機能を使う（プリンターと接続）

このカメラは、撮影した画像を、ケーブルを使わずに無線でプリンターやパソコンに転送し、画像の印刷や保存ができます。

プリンターと接続

付属のワイヤレスプリントアダプターをキヤノン製PictBridge対応プリンターに接続すると、カメラで撮影した画像を無線で転送して印刷できます（p.92）。

次のページから順にご覧ください。

パソコンと接続

無線LAN対応のパソコン*に、付属の Canon Digital Camera Solution Disk に収められているソフトウェアをインストールして設定を行うと、カメラとパソコンを無線で接続できます。撮影済みの画像をパソコンに転送することはもちろん、撮影と同時に画像を転送したり、パソコンに転送した画像をそのまま自動的に印刷したり、パソコンを操作して撮影できます。

*無線でカメラと接続できるパソコンのOSは、Windows XP SP2のみです。

ソフトウェア&ワイヤレスガイドをご覧ください。

- キヤノン製PictBridge対応プリンター以外のプリンターをお使いの場合、ケーブルでカメラとプリンターを接続して、簡単に印刷できます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

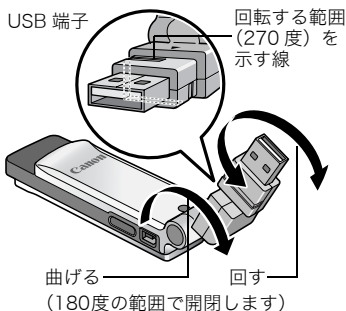
プリンターに接続する

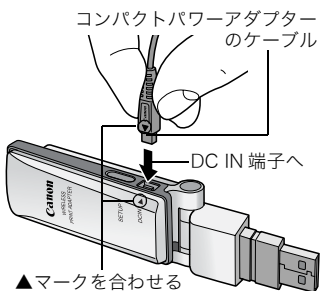
ワイヤレスプリントアダプターをプリンターに取り付ける

付属のワイヤレスプリントアダプター WA-1をキヤノン製PictBridge対応プリンターに取り付けると、メモリーカードに記録されている画像を、無線機能を使って印刷できます。

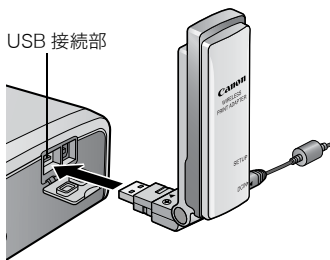
- ワイヤレスプリントアダプターは、パソコンには接続しないでください。パソコンが誤動作する恐れがあります。ワイヤレスプリントアダプターはキヤノン製 PictBridge 対応プリンター専用です。

1 ワイヤレスプリントアダプターの角度と方向を調節する

- ワイヤレスプリントアダプターを、図のように曲げたり、回したりすることができます。
- ワイヤレスプリントアダプターの USB 端子の向きを、ご使用のプリンターの USB 接続部へ差し込む方向に合わせます。
- ワイヤレスプリントアダプターの角度と方向を調節するときは、無理な力を加えないでください。

2 付属のコンパクトパワーアダプターをワイヤレスプリントアダプターに取り付ける

- ワイヤレスプリントアダプターのDC IN端子に、コンパクトパワーアダプターのケーブルを奥まで差し込みます。
- キヤノン製PictBridge対応プリンター（CP710/CP510以外）をお使いの場合は、コンパクトパワーアダプター CA-DC20 を取り付けてください。CP710/CP510をお使いの場合は、コンパクトパワーアダプター CA-DC20 を使う必要はありません。
- ワイヤレスプリントアダプターからコンパクトパワーアダプターのケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

3 コンパクトパワーアダプターをコンセントに差し込む

4 プリンターのUSB接続部にワイヤレスプリントアダプターを取り付ける

- 通信状態をより良くするために、ワイヤレスプリントアダプターは90度に曲げてからプリンターに取り付けることをおすすめします。

5 プリンターの電源を入れる

接続 / 切断する

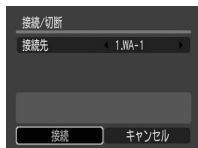
プリンターに無線で接続する

1 **モードスイッチ ▶ (再生) ▶ ⚡ (無線)メニュー ▶ [接続/切断]**

メニュー操作（p.30）

- メニューを表示せずに再生モードで 🖶 ボタンを押しても、同じ画面が表示されます。

2 **[接続先]に[1.WA-1]が選択されていることを確認してから、◀/▶ ボタンで[接続]を選び、FUNC./SET (または 🖶 ボタン)を押す**

- 「接続中」と表示され、しばらくすると接続が完了します。
- [接続先]に[1.WA-1]以外が選択されているときは、▲/▼ ボタンで[接続先]を選び、◀/▶ ボタンで[1.WA-1]を選択してください。
- 複数のワイヤレスプリントアダプターと接続可能な状態（接続先の登録済み）(p.96)の場合は、[接続先]に接続したいワイヤレスプリントアダプターを選択します。
- 接続を開始すると、カメラの無線ランプとワイヤレスプリントアダプターのランプが青く点滅し、無線接続が完了すると青色に点灯します。
- メニューを表示せずに 🖶 ボタンを押し続けても、接続できます。

●接続が完了すると、無線接続の電波強度を示すアイコン Yıllが表示されます。
●電波状態などにより接続を完了できない場合は、30秒経過すると自動的に接続を中止します。

接続後の印刷手順は、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

無線による接続を終了する

1 **モードスイッチ ▶(再生)▶ ⚡(無線)メニュー▶ [接続/切断]**

メニュー操作(p.30)

2 **←/→ボタンで[切断]を選び、(FUNC. SET)を押す**

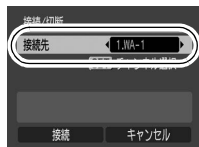
●無線による接続を終了します。

- 無線接続中に表示される Yıllは、アンテナの本数が 3 本表示されていれば良好な接続状態です。アンテナの本数が少ないほど、接続状態は悪くなります。Yと無線ランプが点滅している場合は、無線接続状態が非常に悪いので、カメラとワイヤレスプリントアダプターの距離を近付けてください。
- 無線接続の切断を防ぐため、カメラとプリンターの無線接続時は以下のことにご注意ください。
  - 電子レンジなど、電波を発する機器の近くで使用しない
  - カメラとプリンターを遠ざけない
  - カメラとプリンターの間に物を置かない
- 複数のワイヤレスプリントアダプターと接続可能な状態のときに、[接続先] を選択してから DISP. ボタンを押すと、選択されたワイヤレスプリントアダプターが青・青・橙交互に点滅して、どのワイヤレスプリントアダプターと通信可能かを確認できます。
- プリンターに接続中に、モードスイッチを切り換えると、無線接続が切断されます。
- 印刷中に無線接続を切断すると、印刷が中断されます。

ワイヤレスプリントアダプターのチャンネルを変更する

すでにお使いの無線環境で設定済みのチャンネル（使用周波数）と同じときは、電波の干渉を避けるため、ワイヤレスプリントアダプターのチャンネルを変更してください。

1 **[接続先]でチャンネルを変更したい接続先を選び、(FUNC./SET) を押す**

メニュー操作（p.30）

2 **▲/▼ボタンでチャンネルを変更し、(FUNC./SET) を押す**

- MENUボタンを押すと、チャンネルを変更せずに手順1に戻ります。

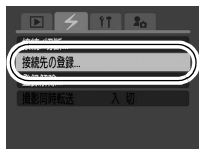
- 無線接続中は変更できません。
- 14チャンネルは無線出力が小さいため、他のチャンネルよりもつながりにくい場合があります。

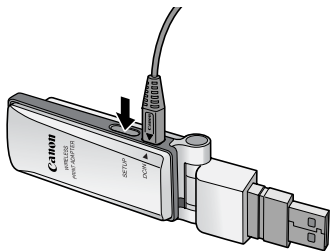
接続先を登録する

付属のワイヤレスプリントアダプター以外のワイヤレスプリントアダプターを使ってプリンターに無線で接続するときに、接続先として新たにカメラに登録します。

1 **新たにカメラを登録するワイヤレスプリントアダプターに、コンパクトパワーアダプターを取り付ける**

2 モードスイッチ ▶(再生)▶ ⚡(無線)メニュー ▶[接続先の登録]

メニュー操作（p.30）

3 液晶モニターに「SETUPボタンを押してください」が表示されたら、10秒以内にワイヤレスプリントアダプターのSETUPボタンを押す

- 液晶モニターに「登録完了」と表示されます。
- 新たに登録したワイヤレスプリントアダプターは、[接続先]で[2.WA-1]と表示されます。また、3台目以降も同様に[3.WA-1]、[4.WA-1]と表示されます。

4 (FUNC. SET)を押す

- 登録するときは、カメラとワイヤレスプリントアダプターは1m 以内に近付けてください。
- 登録が失敗したときは、「メッセージ一覧」（p.109）をご覧ください。
- 最大で 8 台まで、カメラに登録できます。

接続先の登録を解除する

使わない接続先の登録を解除できます。

1 ⚡(無線)メニュー▶[登録解除]

メニュー操作（p.30）

2 登録解除したい[接続先]を選ぶ

- ▲/▼ボタンで[接続先]を選び、◀/▶ボタンで登録を解除したい接続先を選択します。

3 ▲/▼ボタンと◀/▶ボタンで[登録解除]を選び、(FUNC. SET)を押す

- 登録解除を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

- 付属のワイヤレスプリントアダプターの登録は解除できません。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源スイッチを押してください（基本編 p.4）。
メモリーカードスロット/バッテリーカバーが開いています。	●メモリーカードスロット/バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください（基本編 p.1）。
バッテリーの電圧が足りません（「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます）。	●十分に充電されたバッテリーをカメラに入れてください（基本編 p.1）。 ●AC アダプターキット ACK-DC10（別売）を使用してください（p.118）。
カメラとバッテリーの接触不良です。	●バッテリーの電極を先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください（p.113）。
カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された	
SD メモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	●書き込み、消去、初期化したいときは、スイッチを上にスライドしてください（p.116）。

日付 / 時刻の設定画面が表示された	
内蔵のリチウム充電池の容量がなくなっています。	●ただちに充電してください（基本編 p.3）。

液晶モニター

表示が黒くなる	
太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	●故障ではありませんので、撮影した画像には影響ありません。
画面がちらつく	
蛍光灯の下で撮影しています。	●カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。
赤紫などの帯が縦に表示された	
被写体が極端に明るすぎます。	●これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。
が表示された	
光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	●ISO 感度を上げるか（p.63）、ストロボを（発光禁止）以外に設定するか、または三脚などでカメラを固定してください（基本編 p.8）。
が表示された	
DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定されたメモリーカードです。	●このカメラでそれらの印刷指定、送信指定またはスライドショーの画像指定を変更すると、設定内容は、すべて書き換えられますので、ご注意ください（p.82）。

ノイズが表示される / 被写体の動きがぎこちない	
暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました（p.19）。	●記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
モードスイッチを▶（再生）に合わせています。	●モードスイッチを📷（撮影）または🎥（動画）にしてください（基本編 p.5）。
ストロボが充電中です。	●充電が完了するとランプが橙色に点灯し、撮影できます（p.24）。
メモリーカードの空き容量がありません。	●新しいメモリーカードを入れてください（基本編 p.2）。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
メモリーカードが正しく初期化されていません。	●メモリーカードを初期化してください（p.26）。 ●メモリーカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様相談センターにお問い合わせください。
SDメモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。	●SD メモリーカードのライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p.116）。

ファインダーから見える範囲と、撮影された範囲にズレがある

通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。	●実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認してください。マクロモードのときは、このズレが大きいので、必ず液晶モニターを使用してください（p.17）。

画像がぼやけている、ピントが合いにくい

AF補助光が[切]になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF補助光が光ってピントを合いやすくします。AF補助光が「切」だと機能しないので、「入」にして、AF補助光を発光させてください（p.31）。このとき、AF補助光投光部に手がかからないように注意してください。
シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●セルフタイマーを（2秒タイマー）に設定すると、2秒後に撮影されるので、カメラのブレを防ぐことができます（p.41）。また、カメラを固定した台の上に置いたり、三脚を使用しても、ブレのない画像を撮影できます。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください（p.123）。
ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロック、AFロックで撮影してください（p.47）。

撮影した画像の被写体が暗すぎる

撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを（常時発光）にしてください（基本編p.8）。
被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p.51）。 ●AEロックまたはスポット測光機能をお使いください（p.49、p.50）。

被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p.124）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p.63）。

撮影した画像の被写体が明るすぎる

被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p.124）。
被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	●露出補正値をマイナス側に設定してください（p.51）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p.49、p.50）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが「常時発光」になっています。	●ストロボを（発光禁止）にしてください（基本編 p.8）。

画像が白飛びする、画像にノイズがある

ISO 感度が高すぎます。	●ISO感度を上げすぎると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください（p.63）。 ●、、、では、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。

画像に白い点などが写る

ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側で撮影したときに、目立ちやすくなります。	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る

暗い所でストロボを発光すると、ストロボの光が反射して目が赤く写ることがあります。	●（赤目緩和）で撮影してください（基本編 p.8）。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。 ●「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。 ただし、赤目緩和ランプが点灯するときに、効果を高めるため、約 1 秒間シャッターは切れませんのでご注意ください。

連続撮影速度が遅くなった

メモリーカードの性能が低下しました。	●連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでメモリーカードを初期化することをおすすめします（p.26）。

メモリーカードへの画像の記録時間が長い

違う機器で初期化したメモリー カードが入っています。	●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p.26）。

レンズが出たままで収納されない	
電源を入れたまま、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開けました。	●メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください（基本編 p.1）。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される	
以下のようなメモリーカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影/消去を繰り返した	●撮影時間が正しく表示されないときも、メモリーカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。メモリーカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いメモリーカードを除く）（p.26）。
液晶モニターに「！」が頻繁に表示される	
カメラの内部メモリーが少なくなると、「!」が赤表示され、まもなく撮影が自動的に終了します。	●以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にメモリーカードを初期化する（p.26） - 記録画素数を小さくしたり、フレームレートを下げる（p.37） - 高速のメモリーカード（SDC-512MSH など）を使用する
ズームできない	
動画撮影中にズームレバーを押しました。	●撮影前にズーム操作をしてから、動画を撮影してください(基本編 p.7)。ただし、デジタルズームは撮影中もお使いになれます（スタンダードのみ）（p.38）。

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	●付属の ZoomBrowser EX や Image Browser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。 詳細は、ZoomBrowser EX / Image Browser のソフトウェアガイド (PDF) をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください（詳細は、ソフトウェア＆ワイヤレスガイドをご覧ください）。

動画を編集できない

他のカメラで撮影した動画は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

高い記録画素数と早いフレームレートで撮影した動画を、読み込み速度の遅いメモリー カードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

ビデオ出力方式をPAL方式に設定し、(スムーズ動画）で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。	●オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニターまたはパソコンで再生することをおすすめします。

メモリーカードからの画像の読み出しが遅い	
違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。	●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p.26）。

バッテリー/バッテリーチャージャー

バッテリーの消耗が早い	
常温（23 ℃）で使用しているときに消耗が早い場合は、バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（基本編 p.1）。
バッテリーが充電できない	
バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（基本編 p.1）。

テレビ出力

テレビに出力できない	
お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	●正しいビデオ出力形式（NTSC またはPAL)に合わせてください(p.34)。日本国内の出力形式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	●スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください（基本編 p.5）。

プリンターへの無線接続

プリンターに無線接続できない	
ワイヤレスプリントアダプターがプリンターに取り付けられていません。	●ワイヤレスプリントアダプターをプリンターに取り付けてください(p.92)。
キヤノン製PictBridge対応プリンター以外のプリンターをお使いです。	●カメラと無線接続するときは、キヤノン製PictBridge対応プリンターをお使いください(p.92)。
ワイヤレスプリントアダプターにコンパクトパワーアダプターが取り付けられていません。	●キヤノン製 PictBridge 対応プリンター(CP710/CP510 以外)をお使いの場合は、コンパクトパワーアダプター CA-DC20 を取り付けてください。
無線の電波状態が悪くなっています。	●電子レンジなど、電波を発する機器の近くで使用しないでください。 ●カメラとプリンターを遠ざけないでください。 ●カメラとプリンターの間に物を置かないでください。

メッセージ一覧

- 撮影、再生、プリンターに無線接続中 ⇨ 以下のエラーメッセージが表示されます。
- パソコンに無線接続中 ⇨ ソフトウェア&ワイヤレスガイドをご覧ください。
- 印刷中 ⇨ ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中…

撮影した画像をメモリーカードに記録しています。再生モードを起動中です。

カードがありません

メモリーカードをカメラに入れずに、電源を入れました。

ライトプロテクト

SD メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。

記録できません

メモリーカードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

メモリーカードに異常があります。

カードがいっぱいです

メモリーカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上、画像指定や音声メモができません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで［画像番号］を［オートリセット］に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、メモリーカードを初期化してください。なお、初期化すると、メモリーカード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

バッテリーの残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに充電されたバッテリーに交換するか、バッテリーを充電してください。

画像がありません

メモリーカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

4992 × 3328 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像を再生しようとしました。

データが壊れています

データが破壊されている画像を再生しようとしました。

RAW

RAW タイプで記録された画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

特殊なタイプ（他社カメラ特有の記録タイプなど）で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を回転させようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声メモのタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。

登録できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画を起動画面に登録しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

Exx

カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えてサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

接続に失敗しました x

無線機能による接続に失敗しました。「x」の数値ごとに、以下の方法で対応してください。

1 2 3	パソコンとの無線接続時にエラーが発生しました。詳細は、ソフトウェア&ワイヤレスガイドをご覧ください。
4 5	無線接続に失敗しました。カメラとワイヤレスプリントアダプターの距離を近付けるか、カメラの向きやワイヤレスプリントアダプターの角度を変える、もしくはチャンネル設定を変更してから再度無線接続を行ってください。
7	メモリーカードに大量の画像（3000 画像程度）が保存されていると、無線接続ができない場合があります。必要な画像をメモリーカードリーダーを使ってパソコンに保存してから、メモリーカード内の画像枚数を減らし、再度無線接続を行ってください。

切断されました

無線接続が切断されました。カメラとワイヤレスプリントアダプターの距離を近付けるか、カメラの向きやワイヤレスプリントアダプターの角度を変える、もしくはチャンネル設定を変更してから再度無線接続を行ってください。

登録数オーバー

接続先がすでに 8 台登録されています。さらに登録するには、「登録解除」で使わない接続先の情報を削除してください。

登録失敗

登録に失敗しました。カメラとワイヤレスプリントアダプターの距離を近付けるか、カメラの向きやワイヤレスプリントアダプターの角度を変えてから、再度登録を行ってください。また、登録時は、液晶モニターに「SETUP ボタンを押してください」が表示されたら、10 秒以内にワイヤレスプリントアダプターの SETUP ボタンを押してください。

既に登録されています

既に同一のワイヤレスプリントアダプターの登録が完了しています。

バッテリーの取り扱い

バッテリー残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

▭

バッテリー残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに充電してください。

バッテリーを交換してください

バッテリーの残量が少なく、動作不能です。ただちにバッテリーを交換してください。

取り扱い上の注意

●**バッテリーの端子は、常にきれいにしておいてください。**

汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください。

●**低温下では、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコン（▭）が早めに表示されることがあります。**

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

●**ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。**

バッテリーがショートする恐れがあります。

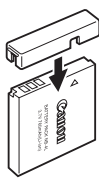
●キーホルダーなどの金属類でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触（ショート）させないでください（図 A)。持ち運ぶときや、お使いにならないときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図 B)。

バッテリーパックの破損の原因となることがあります。
端子カバーの取り付けかたによって、バッテリーの充電状態を確認することができます（図 C、D)。

図 A

図 B

図 C

図 D

充電済バッテリー　使い切ったバッテリー

「▲」が見えるように取り付けます。

図Cの逆に取り付けます。

●バッテリーを使い切ってから、湿度の低い室温（0 ～ 30 ℃）で保管してください。

フル充電の状態で長期間（1 年くらい）保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。また長期間使用しないときは、1 年に 1 回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

充電する

●このバッテリーはリチウムイオン充電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。

●完全に放電した状態からフル充電になるまでの時間は、約 90 分です。（当社測定基準による）

・5 ～ 40 ℃の範囲で充電することをおすすめします。

・充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。

●使用する当日または前日に充電してください。

充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。

●規定の充電をしたにもかかわらず、著しく使用できる時間が低下するときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

・この製品には充電式のリチウムイオン電池を使用しています。

・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

・リチウムイオン電池の回収、リサイクルについては、下記の「キヤノン / キヤノン販売」のホームページで確認できます。

・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOX に入れてください。

・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。

- 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
-「有限責任中間法人　ＪＢＲＣ」および「キヤノン / キヤノン販売」

有限責任中間法人　ＪＢＲＣ ホームページ

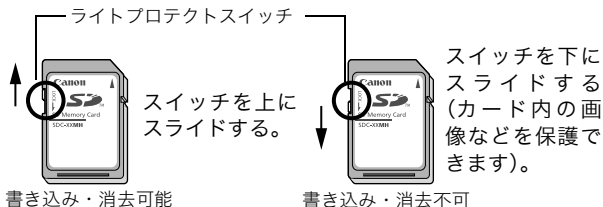
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノン / キヤノン販売　ホームページ

http://cweb.canon.jp/ecology/recycle5.html

付録

メモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチについて

取り扱い上のご注意

●曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。

●分解したり、改造しないでください。

●端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。

●貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。

●文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。

●下記の場所で使用したり、保管しないでください。

・ほこりや砂ぼこりの立つ場所

・高温多湿の場所

●大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

電気ノイズ、静電気、カメラやメモリーカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします。

・付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

・キヤノン製以外のメモリーカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

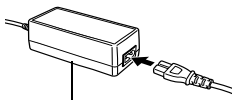
・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したメモリーカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

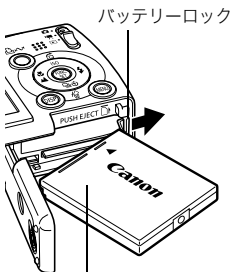
●正しく初期化されないときは、電源を切ってから、メモリーカードを入れ直し、再度初期化してください。

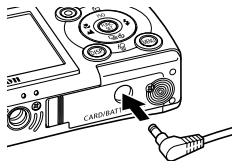
ACアダプターキット(別売)を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK-DC10（別売）のご利用をおすすめします。

- カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

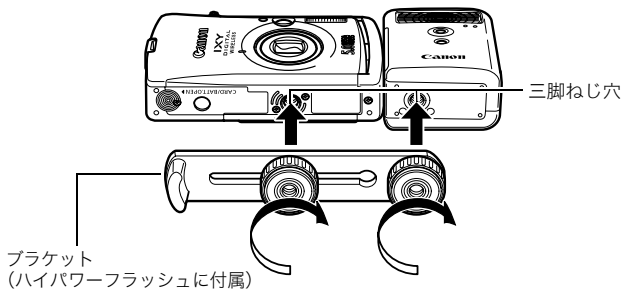
1 **コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む**

2 **メモリーカードスロット/バッテリーカバーを開き、バッテリーロックを矢印の方向に押しながら、DCカプラーがロックされるまで押し込む**

- メモリーカードスロット/バッテリーカバーを元の位置に戻します。

3 **メモリーカードスロット/バッテリーカバーの内側のスイッチを内側にスライドし、DCカプラー端子カバーを開く**

4 メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じて、DC端子を接続する

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

付録

- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123A または DL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

電池について

●電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

●寒冷地（0 ℃以下）でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

●お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

海外で使うとき

このデジタルカメラは、海外でもお使いになれます（無線機能は海外では使用できません）。ご使用の際は、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は､初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください (p.34)。

電源について

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では､変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります)。
変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

- 無線機能は国内のみで使用することができます。海外では無線法規上お使いになれません。

- AC アダプターキットやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障の恐れがありますので使用しないでください。

- 世界時計を設定する（p.27）

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

- カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙でご確認ください）にご相談ください。

ファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

- 絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

IXY DIGITAL WIRELESS

カメラ部有効画素数	：約 500 万画素
撮像素子	：1/2.5 型 CCD（総画素数 約 530 万画素）
レンズ	：5.8（W）－ 17.4（T）mm (35mm フィルム換算 35（W）－ 105（T）mm) F2.8（W）－ F4.9（T）
デジタルズーム	：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 12 倍のズームが可能）
光学ファインダー	：実像式ズームファインダー
液晶モニター	：2.0 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約 11.8 万画素、視野率 100%
AF 方式	：TTL オートフォーカス 測距枠：9 点（AiAF）/ 1 点（AF） （1 点時の測距枠：中央固定）
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：30cm ～∞ マクロ撮影：3 ～ 50cm（W）/30 ～ 50cm（T） ：遠景撮影：3m ～∞
シャッター	：メカニカルシャッター + 電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/1500 秒 ・撮影モードによって異なる ・1.3 秒以上のスローシャッター時はノイズリダクション処理あり
測光方式	：評価 / 中央部重点平均 / スポット* *測光枠は中央固定
露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）
ISO 感度	：オート*、ISO 50 / 100 / 200 / 400 相当 *オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	：オート / プリセット（太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H）/ マニュアル

(W)：ワイド端　(T)：テレ端

内蔵ストロボ	：オート / オート（赤目緩和）/ 常時発光（赤目緩和）/ 常時発光 / 発光禁止 / スローシンクロ
内蔵ストロボ撮影範囲	：通常撮影：50cm ～ 3.5m（W）/50cm ～ 2.0m（T） ：マクロ撮影：30 ～ 50cm（W/T） （感度設定：オート）
撮影モード（静止画）	：オート / マニュアル＊[1]/ デジタルマクロ / ポートレート / ナイトスナップ / マイカラー / シーンモード＊[2] / スティッチアシスト＊[3]
（動画）	：スタンダード / スムーズ / ライト / マイカラー ＊[1] 長秒時撮影可能 ＊[2] キッズ&ペット、パーティー / 室内、新緑 / 紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火 ＊[3] マニュアルモード時に撮影メニューで選択
連続撮影	：約 2.1 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
パソコン接続撮影	：無線接続時、付属のソフトウェアで撮影可能
記録媒体	：SD メモリーカード / マルチメディアカード ・本機では、2GB までのメモリーカードの動作を確認しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。
ファイルフォーマット	：DCF 準拠＊[1]、DPOF 対応
データタイプ（静止画）	：Exif 2.2（JPEG）＊[2]
（動画）	：AVI（画像データ：Motion JPEG / 音声データ：WAVE（モノラル））
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数（静止画）	：ラージ　：2592 × 1944 画素 ：ミドル 1：2048 × 1536 画素 ：ミドル 2：1600 × 1200 画素 ：スモール：　640 ×　480 画素 ：L 判印刷：1600 × 1200 画素
（動画）	：スタンダード、マイカラー ：640 × 480 画素（30 フレーム / 秒、15 フレーム / 秒） ：320 × 240 画素（30 フレーム / 秒、15 フレーム / 秒） メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊（1 回の最大記録容量：1GB）

項目	仕様
（動画）	：スムーズ：320 × 240 画素（60 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：1 分 ：ライト：160 × 120 画素 （15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：3 分 *超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH）
再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル 9 画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約 10 倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ ジャンプ（10 枚ごと、100 枚ごと、各撮影日の先頭画像、動画、各フォルダの先頭画像にジャンプが可能。インデックス再生時は、9 画像ごとに再生）/ スライドショー / 音声メモ（最長約 60 秒まで記録、再生が可能）/ 動画再生（編集 / スロー再生可能）
ダイレクト印刷	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音
無線規格	：IEEE802.11b
無線チャンネル	：1 ～ 14 チャンネル
セキュリティ	：インフラストラクチャー：WEP 64 / 128bit, WPA-PSK（TKIP / AES） ：アドホック： パソコン接続時：WEP 64 / 128bit WA-1 接続時：AES
通信距離	：約 30m（ただし機器の間に障害物のないこと） ・設置場所、使用環境、使用条件によって変化する場合があります
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B）、PTP ［Picture Transfer Protocol］ 映像 / 音声出力端子（NTSC または PAL 切換可能、モノラル音声）
電源	：バッテリーパック NB-4L（専用リチウムイオン充電池） ：AC アダプターキット ACK-DC10
動作温度	：0 ～ 40 ℃
動作湿度	：10 ～ 90%

大きさ	：99.0 × 54.4 × 21.7mm（突起部を除く）
質量（本体のみ）	：約 130g

＊[1] DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

＊[2] このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。

バッテリー性能（バッテリーパック NB-4L（フル充電））

撮影画像数		再生時間
液晶モニター表示時（CIPA 測定法準拠）	液晶モニター非表示時	
約 150 画像	約 500 画像	約 3 時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画撮影、撮影同時転送時は除きます。
- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

<測定条件>

撮影：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）で、2 回に 1 回ストロボを発光させながら、30 秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10 画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。

・キヤノンブランドのメモリーカードを使用

＊電池の温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）の環境において、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生。

バッテリーの取り扱いについて（p.113）

メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）

□ ：付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	SDC-16M	SDC-128M	SDC-512MSH
L (ラージ) 2592 × 1944 画素	S	5	49	190 *
	F	9	87	339
	N	19	173	671
M1 (ミドル 1) 2048 × 1536 画素	S	8	76	295
	F	15	136	529
	N	30	269	1041
M2 (ミドル 2) 1600 × 1200 画素	S	13	121	471
	F	24	217 *	839
	N	46	411	1590
S (スモール) 640 × 480 画素	S	52	460	1777
	F	80	711	2747
	N	127	1118	4317
(L 判印刷) 1600 × 1200 画素	F	24	217 *	839

・ ■ :スムーズ連写できます(p.39) (*:物理フォーマットした場合に可能)。
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

■ 動画

記録画素数		フレームレート	SDC-16M	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード	640 640×480画素	30	6 秒	1 分 4 秒	4 分 9 秒
		15	14 秒	2 分 7 秒	8 分 14 秒
マイカラー	320 320×240画素	30	20 秒	3 分 1 秒	11 分 42 秒
		15	40 秒	5 分 55 秒	22 分 53 秒
スムーズ	320 320×240画素	60	10 秒	1 分 32 秒	5 分 59 秒
ライト	160 160 × 120 画素	15	1 分 39 秒	14 分 29 秒	55 分 57 秒

・動画の 1 回の最長撮影時間は、スムーズ: 1 分、ライト: 3 分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

付録

1 画像の容量（目安）

記録画素数	圧縮率		
	S	◢	▟
L 2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M1 2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
M2 1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S 640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
1600 × 1200 画素	—	558KB	—

■ 動画

	記録画素数	フレームレート	容量
スタンダード マイカラー	640 640 × 480 画素	30	1980KB/ 秒
		15	990KB/ 秒
	320 320 × 240 画素	30	660KB/ 秒
		15	330KB/ 秒
スムーズ	320 320 × 240 画素	60	1320KB/ 秒
ライト	160 160 × 120 画素	15	120KB/ 秒

ワイヤレスプリントアダプター WA-1

対応カメラ	: IXY DIGITAL WIRELESS
対応プリンター	: キヤノン製PictBridge対応プリンター* *コンパクトパワーアダプターCA-DC20が必要(SELPHY CP710/510は除く)。 SELPHY CP710/510はUSBバスパワード対応。
無線規格	: IEEE802.11b
無線通信モード	: アドホックモード
セキュリティ	: AES
通信距離	: 約30m(ただし機器の間に障害物のないこと) ・設置場所、使用環境、使用条件によって変化する場合があります。
インターフェース	: USB
表示	: 青色LED、橙色LED
電源	: DC 5.0V:USBバスパワード時、 DC 5.0V:CA-DC20使用時
大きさ	: 92.5×27.0×28.8mm(収納時)
質量	: 約40g

コンパクトパワーアダプター CA-DC20

定格入力	: AC100～240V(50/60Hz) 11VA(100V)～13VA(240V)
定格出力	: DC 5.0V、0.7A
使用温度	: 0～40℃
大きさ	: 49.4×53.4×20.5mm
質量	: 約92g

SD メモリーカード

インターフェース	: SDメモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	: 32.0×24.0×2.1mm
質量	: 約2g

バッテリーパック NB-4L

形式	：リチウムイオン充電池
公称電圧	：DC 3.7V
公称容量	：760mAh
動作温度	：0～40℃
大きさ	：35.4×40.3×5.9mm
質量	：約17g

バッテリーチャージャー CB-2LV

定格入力	：AC100～240V（50/60Hz） 10VA（100V）～ 14VA（240V）
定格出力	：DC 4.2V、0.65A
充電時間	：約90分
動作温度	：0～40℃
大きさ	：53.0×86.0×19.5mm
質量	：約60g

コンパクトパワーアダプター CA-DC10

（別売の AC アダプターキット ACK-DC10 に付属）

定格入力	：AC100～240V（50/60Hz） 16VA（100V）～26VA（240V）
定格出力	：DC4.3V、1.5A
動作温度	：0～40℃
大きさ	：42.6×104.4×31.4mm
質量	：約180g

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

●バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス
●オンラインアルバムサービス
●携帯電話アルバム通知・閲覧サービス
●ホームプリンティングサービス
●プリント注文サービス（有料）
●オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）
●マイカメラコンテンツのダウンロード

http://www.imagegateway.net/

●最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
●会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェア＆ワイヤレスガイドでご確認いただけます。

* インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
* プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

「基」は基本編の略です。

記号 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

下記の表を参考に、撮影状況に合わせて各種設定を行い、撮影してください。各撮影モードで設定した内容は、撮影後も設定が保持されます。

機能									参照ページ
記録画素数	ラージ L	○*	○*	○*	○*	○*	△*	−	p.36 p.37
	ミドル1 M1	○	○	○	○	○	△	−	
	ミドル2 M2	○	○	○	○	○	△	−	
	スモール S	○	○	○	○	○	△	−	
	L判印刷	○	○	−	○	○	−	−	
	動画	−	−	−	−	−	−	○1)	
圧縮率	スーパーファイン	○	○	○	○	○	△	−	p.36
	ファイン	○*	○*	○*	○*	○*	△*	−	
	ノーマル	○	○	○	○	○	△	−	
フレームレート		−	−	−	−	−	−	○2)	p.37
ストロボ3)	オート A	○	○	−	○	○	−	−	基本編 p.8
	オート（赤目緩和）	○*	○*	−	○*	○	−	−	
	常時発光（赤目緩和）	−	−	−	−	○	−	−	
	常時発光	−	○	−	○	○	△	−	
	発光禁止	○	○	○*	○4)	○	△*	−	
	スローシンクロ	−	○	−	○	−	△	−	
マクロ撮影		○	○	−	○	○5)	△	○	基本編 p.9
遠景撮影		−	○	−	○	○5)	△	○	
AFロック	AFL	−	○	○	○	−	−	○	p.47
AEロック	AEL	−	○	○	○	−	−	○	p.49
FEロック	FEL	−	○	−	○	−	−	−	p.49
撮影方法	シングル撮影	○*	○*	○*	○*	○*	△*	○*	−
	連続撮影	−	○	○	−	○	−	−	p.39
	10秒セルフタイマー	○	○	○	○	○	△	○	p.41
	2秒セルフタイマー	○	○	○	○	○	△	○	
	カスタムセルフ	○	○	○	−	○	−	−	
日付写し込み		○	○	−	○	○	−	−	p.40
AF方式の選択		−	○	○	○	○6)	−	−	p.47
AF補助光		○	○	○	○	○7)	△	○	p.31

機能									参照ページ
デジタルズーム	入	○	○	○	–	○	–	○[8]	p.38
	切	○*	○*	–	○	○*	○	○	
測光方式	評価測光	–[10]	○*	○*	○*	–[10]	–	–[10]	p.50
	中央部重点平均測光	–	○	○	○	–	–	–	
	スポット測光	–	○	○	○	–	–	–	
露出補正		–	○	○	○[9]	○	△	–	p.51
露出シフト		–	–	–	–	–	–	○	p.45
長秒時撮影		–	○	–	–	–	–	–	p.51
ホワイトバランス		–	○	○	○	–[10]	△	○	p.53
色効果		–	○	○	–	–[10]	△	○[11]	p.55
ISO感度		–[10]	○	○	–[10]	–[10]	–[10]	–[10]	p.63
縦横自動回転		○	○	○	○	○	△	–	p.64
グリッドライン		○	○	○	○	○	–	○	p.31

＊：初期設定　○：設定可　△：最初の 1 画像のみ設定可

・　　　：電源を切っても解除されません。

・[エリア設定]、[日付 / 時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式] 以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せます (p.35)。

1) 2)（動画）の記録画素数、フレームレートは下記のとおりです。

記録画素数	640	○*	–	–
	320	○	○	–
	160	–	–	○
フレームレート	60	–	○	–
	30	○*	–	–
	15	○	–	○

3) ストロボの初期設定は、：オート（赤目緩和）、：オート、：発光禁止になります。
　・では、ストロボは設定できません。
　・のとき、ストロボ発光時は自動的にスローシンクロ撮影になります。

4) では、ストロボの初期設定は発光禁止になります。

5) では、マクロ / 遠景撮影の切り換えができません。

6) では、AF 方式は選択できません。

7) では、AF 補助光は設定できません。

8) 撮影中でも操作ができます（スタンダード時のみ）。

9) では、露出補正はできません。

10) カメラが自動的に設定します。

11) では、色効果は設定できません。